

## Yusuhara a Home from Home (第16部)

### 一年で一番、パンケーキを焼く日 (Pancake Day!)

梶原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

こんにちは。今回は、イギリスではこの時期におなじみの行事を、ひとつ紹介したいと思います。「パンケーキ・デイ(Pancake Day)」、伝統的には「告解の火曜日(Shrove Tuesday)」と呼ばれる1日は、イギリスでは国中の人たちがパンケーキを焼く日、ということになっています。他の多くの年中行事やお祭りのように、この記念日も宗教的な起源をもちますが、毎年決まった日に行われるわけではありません。というのは、「イースター(復活祭)の47日前」と定められているからです。四旬節、つまり節食期間が始まる直前のこの1日は、伝統的にお祭りが行われることになっていました。この期間中、一部の食品は食べることが禁じられていたので、パンケーキは、卵、小麦粉、油脂といった、消費期限のある(そして、四旬節中は食べることができない)食材を使い切るのに都合がよい、なおかつおいしい食べ物だったというわけです。

日本のみなさんは、「パンケーキ」と言えば厚みのあるアメリカ風パンケーキ、つまりホットケーキの方をよくご存じかもしれませんが、イギリスでは、日本では「クレープ」と呼ばれている、フランス風の薄いパンケーキを焼くのが一般的です。焼いている時に、空中でひっくり返すのはおなじみのアクションですし、そしてできたてをアツアツのうちに食べます。トッピングはそれこそ多種多様で、ジャム、チョコレートソース、果物、ホイップクリーム……ちょっとオーソドックスなものとしては、白砂糖やレモン果汁があります。



一番伝統的な、英国風パンケーキ。白砂糖とレモン果汁でいただきます！

補足しておくとして、パンケーキを焼くこと自体は、別に珍しいことではないので、パンケーキ・デイは要するに、イギリス人が一年で一番多くパンケーキを焼く日ということになります。今年は3月1日が、このパンケーキ・デイにあたります。みなさんもいかがでしょう？僕は作ってみようかな、と思っています。

(注：この記事は、2月末に執筆されたものです)

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)